



花巻市明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選作品を紹介します

【問い合わせ】 花巻市選挙管理委員会事務局(☎41-3603)

将来有権者となる児童生徒の皆さんが、選挙を身近に感じ、興味を持つきっかけとなるよう実施している「明るい選挙啓発ポスターコンクール」。
本年度は小学校の部に85点、中学校の部に27点の応募がありました。その中から入選した作品を紹介します。

中学校の部

小学校の部



最優秀賞

花巻中3年

照井日那さん



最優秀賞

宮野目小6年

駿河美紗さん



優秀賞

大迫中2年
藤原友梨佳さん



東和中3年
大松天さん



優秀賞

湯本小6年
高橋璃心さん



矢沢小6年
栗原凪葵さん



花巻中1年
梶谷柚朱さん



花巻中3年
金谷青央さん



矢沢小6年
照井花歩さん



矢沢小6年
中野衣織さん



「税についての作文」 入賞者を紹介します

【問い合わせ】
本館収納課(☎41-3530)

税に対する関心や理解を深めるため、市内小中学生から毎年募集している「税についての作文」。本年度は小学生286人、中学生89人から応募がありました。
主な賞で入賞した皆さんは左記のとおりです。その中から、中学生の部で花巻市長賞を受賞した、原唯夏さんの作品を紹介します。

小学生の部

- 花巻市長賞 高橋 咲陽さん(湯口小6年)
- 県南広域振興局県税部花巻県税センター所長賞 佐々木 温生さん(若葉小6年)

中学生の部

- 花巻市長賞・岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞 原 唯夏さん(西南中3年)
- 花巻税務署長賞・岩手県納税貯蓄組合連合会優秀賞 君塚 友俐さん(花巻中3年)

「税金の必要性」

西南中学校3年 原 唯夏

お店で買った商品のレシートには商品の合計金額の下に「外税」と書かれ、消費税の金額が書かれています。私達中学生にとって、消費税は最も身近な税金だと思っています。

なぜ子供も税金を納めなければならぬのか、そして私達が納めた消費税は何に使われているのだろうか。調べてみると、「消費税は年金、医療費、介護、少子化対策などに使用されている」と書かれてありました。そして日本の消費税の歴史を見てみると、日本で初めて消費税が導入されたのは一九八九年四月で、医療や福祉のための財源を確保することを目的とし、消費税がスタートしたそうです。

税金なんて無いほうがいい、税金が無ければ、他に欲しい物を買うことができるのに、と思っていました。が、税金の使い道を学んでみると、税金のおかげで、自分も様々な面で助けられていることを知りました。

例えば、病院を受診したときの領収書を見てみると「窓口負担三割」という言葉とその金額が書かれてあります。これも「国民皆保険」という、乳児から高齢のかたまで、国民全員が加入している保険の掛け金や公費、つまり税金によって残りの七割が病院に支払われているということです。

「海外は医療費が高くて、なかなか病院に行けない」と聞いたことがあります。海外の医療制度がどうなっているかが気になり、調べてみると、日本と同じく国民皆保険があるのは、フランスだけでした。アメリカでは、健康保険への加入は個人の自由となっており、国民皆保険制度はないそうです。高齢者など、一部の人に対しては公的な

医療保険があるそうですが、その他の人達は民間の医療保険に加入している人、無保険の人もあることが書かれてあり、無保険の場合、風邪での受診でも数万円、手術では百万円単位でかかること、薬代も高額であることが書かれてありました。

そう考えると、今まで大人だけが納めれば良いと思っていたましたが、赤ちゃんから高齢者まで、国民全員が年齢関係なく税金という存在に助けられているのだなと思いました。また、今回あげた医療以外にも、身近にある道路や公園、私たちが毎日かよっている学校など、沢山の場所で税金は使われていることを知り、みんなで負担してみんなで助け合う税金の仕組みは大切なことなんだなとも感じました。私もこれからお店で商品を買うとき、消費税は嫌だなと思わず、このときに納めた税金が、どこかで役立っているんだ、ということを頭に入れ、納めていきたいと思いました。